

いたやなぎ 町議会だより

令和3年
6月定例会

第30号
2021. 8. 13



映画「いとみち」に出演した9名の南小学校1年の子どもたち。

撮影時はまだ保育園児だった子どもたちの夢は、警察官・剣道の先生・りんご農家など元気いっぱいに語ってくれました。

主な内容

- 5人が一般質問 P 2 ~ 6
- 常任委員会審査
小学校統合問題検討特別委員会 P 7
- 一目で分かる審議結果 P 8
- 視察研修他 P 9

板柳町の夢進人！

～映画「いとみち」出演！

将来はムービースター！～

南小学校1年(畑岡地区9名)の子どもたち

町民の声を町政に

第6回定例会一般質問

第6回板柳町議会定例会が6月7日から11日までの日程で開催されました。6月9日に行われた「一般質問」に、5名の議員が登壇し質問しました。

一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。

板柳町議会では、1人60分の制限時間があります。議会だよりは、スペースの都合上、1人1ページ相当の文章量までとし、質問と答弁が要約してあります。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。



葛西 幸男

流雪溝について

問 全町内の何%に流雪溝が整備されているのか。また、いたや町、文京町に流雪溝を作る計画はないのか。

答 (成田町長) 板柳全町では流融雪溝の整備率はおよそ6.3%であり、当町の旧市街地を中心とした計画では町道、県道及び国道に占める流融雪溝の整備率は64.5%となっている。

問 整備は多額の予算が伴うため国の事業を活用しながら進めている。いたや町、文京町地区についても順次整備したいが、当面は地域住民にご不便をかけないように万全の体制で除雪作業を進めていく。いたや町の流雪溝を作るとなれば、どのくら

問 いかかるのか。(対馬地域整備課長) 概算で約8億円であるが、若干古い数値であるが、

ふるさとセンターのレストランについて

問 月曜日から金曜日までは600円のランチがあるが、土日は人が多く来ているので、土日も600円のランチを実施してはいいかがか。

答 (成田町長) 日替わりランチは、平日の集客効果を狙い、設定しているサービスマニューである。1日平均で50食ほどの注文をいただいている。以前お昼の部で焼き肉を提供していた頃は、調理が追いつかずスムーズにランチ料理を提供することができなかつたと伺っている。そのため、平日の昼の部では焼き肉をメニューから外し、ランチ客へのサービス向上に力を入れた経緯がある。

土日、祝日については家族連れや友人グループが多く、従来から焼き肉を提供している。現時点では日替

わりランチは平日のみのサービスとさせていただけたい。

問 去年の売上げと今年の売上げはどのくらいか。

答 (八木橋ふるさとセンター所長) レストランの令和2年度の売上げは1,647万7,650円である。今年5月では1か月で118万4,000円である。

問 去年の5月はどのくらいあったのか。

答 (八木橋ふるさとセンター所長) 昨年はコロナの関係で4月から5月にかけて全館休業していた。その影響もあり、5月は76万2,340円である。

問 やはり値段を500円のままにしたほうがいいのか。

答 (成田町長) 食材、人件費の高騰と、そういったことで経費がかさんでいる。やむを得ず、100円引き上げさせていただいた経緯である。



消防団について

問 板柳町消防団に女性消防団員は何人いるのか。

答 (成田町長) 現在消防団員は251名で、このうち女性消防団員が7名となっている。

問 女性の方々をもっと増やしたほうがいいと思うかがか。

答 (成田町長) 各分団の加入活動あるいは町でもさらにその辺はPRしていきたいと考えている。

問 募集の方法で弁当をよくなるなどはいかがか。

答 (成田町長) 消防団員を確保することとは消防防災体制の強化、さらに町民の安全・安心な暮らしにつながるもので、そういった消防団員の処遇の改善あるいはそういう加入しやすいような環境づくりが必要であろうと考えている。



新型コロナウイルスワクチン接種
及びコロナ対策について

問 ワクチンの接種状況と今後の予定を伺う。また、昨年より感染者の増加傾向にあることを鑑み、当町としてのコロナ対策・対応は。

答 (成田町長) 重症化リスクの高い高齢者施設の入所者の方から優先して行い、施設入所者以外の65歳以上の高齢者の皆様には年齢の高い方から順次ワクチン接種を行って

いる。高齢者については8月上旬をめどに終了する見込みとなっており、7月いっぱいでは終了する方向で現在日程の調整を行っている。また、コロナ対策・対応については町民の皆様にはマスクの着用や手洗い、3密の回避など、基本的な感染防

止対策を徹底していただくよう、毎戸チラシやホームページを通じてご理解とご協力をお願いしている。

問 1日当たりの接種人数は何人ぐらいと想定し、予定どおり進んでいるのか。また、余剰ワクチンが出た場合の対応は。

答 (若田健康推進課長) 1日で最大270回程度である。余剰ワクチンの取扱いは、会場にいるスタッフ、事前に名簿をいただいた町内の高齢者入居施設に従事する職員で町民である方、会場での協力をお願いしている保健衛生協力員の方に接種するように決めている。

問 小中学校、保育園の教職員についても、優先的に行うことができないか。

答 (成田町長) 当町では可能かどうか、検討していく。

問 感染者増加により5月中旬以降、飲食店を中心に不安を感じた町民の方から、町の対応について問合せがあることから、5月21日の議案説明会のその他案件で、町へ伺ったところ、

県から何も報告がないので全く状況は把握していないという事だった。飲食店を中心とした町民の声、意見を説明し、町内の状況、雰囲気や伝え、議会からの意見とし、議長から早急に対策会議を開き、状況を把握していただくよう伝えましたが、対策会議等を開き、状況を把握したのか。

答 (成田町長) 22日に対策本部の会議を開き、町民の方にさらに感染防止対策をお願いしたいということでも町のホームページに掲載している。さらに、毎戸チラシを配送している。

問 町内の状況がどのようなになっているのか、行政として気にして頂きたい。その上で、最大限できる対応を検討して頂きたい。県からの報告がないと何も分からないというのは、町民、団体、議会からの声よりも県の声ということにならないか。どちらを向いて町政運営しているのか、私は非常に疑問に思うが、いかがか。

答 (成田町長) 個人情報保護の関係

から慎重に対応する必要がありということ、県からも通達が来ている。県が公表する情報を基にして、県の保健所の情報、指導を受けながら対応していくということになる。

役場職員の正職員数
および配置について

問 役場職員の正職員数及び各課への人員配置数は適正なのか。

答 (成田町長) 町職員の正職員数は、この4月1日現在で177名となっている。各課への職員配置については、業務の内容を勘案しながら配置している。

問 近年の人事異動は適正であるか。

答 (成田町長) 職員の異動についてもできる限り業務を継続して行えるように配慮している。

当町の最重要課題について

問 最重要課題と位置づけを行っている人口対策の政策は、どのような目的で行っているのか。

答 (成田町長) 板柳町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定している。この計画に掲げる施策や子育て支援に必要な事業など、各分野において様々な取組により人口減少のスピードを少しでも緩めることを目的に行っている。

町の老朽施設等の総合的
計画等について

問 老朽施設等の整備計画は、個別に計画するのではなく、総合的な計画を行って進める考えを示している町の計画を伺う。

答 (成田町長) 公共施設等の総合的な管理を行うため、平成29年度から40年間を計画期間とした板柳町公共施設等総合管理計画を平成28年度に策定している。策定時には令和4年度末で閉校する板柳高等学校、現在進めている統合小学校後の旧校舎の活用等についても今後検討していく。



三戸 玲子

板柳中学校のプールと 自転車置き場について

問 プールはどのような状況なのか。また、中学校の自転車置き場は今後どのような予定になっているのか。

答 (永澤教育長)
プールは、平成30年度まで1年生が年間2時間程度水泳の授業を行っていた。その後、施設が古くなり水質の維持管理が難しくなってきたこと、フェンスがないためにプライバシーが確保できないなどの事情で現在は使用していない。

教育課程上、水泳の事故防止に関する心得を教室等の授業で取り扱うことにより、実技を省略できると規定されている。
プールの扱いについては、中学校の先生方と協議して

今後対応していきたいと考えている。

自転車置き場については、今年度において自転車置き場の設計委託業務を既に発注し、年度内に工事に着手し完成を目指していきたい。

問 新しい自転車置き場の場所は。

答 (對馬学務課長)
計画している場所は、既設の自転車置き場の位置から正門に近づけて、学校からも管理できるような位置である。

介護保険と後期高齢者 医療保険について

問 保険料の算出方法はどのようになっているのか。介護保険と後期高齢者医療の保険料はどうなっているのか。また、その人数は。

答 (成田町長)
介護保険財源の半分を占める保険料は65歳以上の方の保険料と40歳から64歳までの方の保険料で構成され、65歳以上の方の保険料については3年ごとに町が策定する事業計画に基づいて算定している。また、40歳から64歳までの介護保険

料については、加入している健康保険の保険者においてそれぞれ保険料率の基準を設定し、その基準に従って算定されている。
町が定めている65歳以上の方の介護保険料の算定方法は人口や要介護認定者数の推計などを基に、向こう3年間に利用が見込まれる介護サービス等に係る費用と介護予防などの地域支援事業に係る費用を合わせたものに65歳以上の第1号被保険者の負担割合を乗じて必要な保険料額を割り出し、これを第1号被保険者数で割ると保険料の基準額が算出される仕組みとなっている。

高齢者医療保険料の算定方法は、被保険者全員が負担する均等割額と所得に応じて決められる所得割額の合計額となる。

介護保険の被保険者数は、5月1日現在で65歳以上の第1号被保険者が4,934人、40歳から64歳までの第2号被保険者が4,356人である。後期高齢者医療保険の被保険者数は現在2,609人である。

問 後期高齢者医療の3割と1割の人の割合はどれぐらいの割合か。

答 (若田健康推進課長)
後期高齢者の負担割合の率については、1割の方が98%、3割の方が2%程度となっている。

問 3割負担の方の所得はいくら以上になっているのか。

答 (若田健康推進課長)
同じ世帯に住民税課税所得額が145万円以上の被保険者がいる場合は3割負担である。ただし、3割負担の方のうち収入が一定額未満の場合は申請により1割負担となる。

問 滞納されている方のペナルティーなどはあるのか。

答 (若田健康推進課長)
ペナルティーという言葉は当てはまるかわからないが、期限の短い被保険者証を交付されている方もいる。

問 短期というところは窓口で100%負担であるか。

答 (若田健康推進課長)
被保険者のそれぞれの負担割合で払うことになる。10割ではない。

議会を傍聴しませんか

次の定例会は9月です

<議会日程のお知らせ(予定)>

月日	内容
9月2日(木)	本会議 委員会報告、提案理由の説明・報告、監査報告、決算特別委員会の設置
9月6日(月)	本会議 一般質問
9月7日(火)	常任委員会 総務産業厚生・福祉建設文教
9月8日(水)	特別委員会 決算特別委員会
9月9日(木)	特別委員会 決算特別委員会
9月10日(金)	本会議 本会議、質疑・討論・採決

※開催予定時間はいずれも午前10時です。

傍聴者名簿に住所、氏名、年齢を記入していただければ、どなたでも本会議を傍聴することができます。ただし、マスク着用をお願いします。また、発熱等の症状がみられる方はお断りする場合があります。





工藤 貢

統合小学校の整備について

問 保育所や小学校の保護者のほかに町内会長や行政連絡委員など広く町民の皆さんにもアンケート調査を行ったと聞いているが、結果がまとまっているのであれば、内容を伺う。

答 (永澤教育長) 現在集計作業を進めている。まとまり次第、議員の皆様にも報告し、町民の皆様にも広く公表したい。

問 4校を1校に統合することは避けて通られないと思うが、統合することによってどんなメリットや利点が考えられるのか。

答 (永澤教育長) 東小学校等で行われている複式学級の解消、そのほか子どもたちのニーズに応じた多様な部活動あるいは多様な教育活動が考えら

れる。1学年が2クラス以上になることで、クラス替え等により人間関係の固定化を防ぐこともまた可能となる。多くの友達や教師に巡り会い、共に学び、生活する中で、子どもたちの中に社会性が育まれるほか、行事では集団の力が発揮され、学校生活に活気がみみぎることが考えられる。

問 統合小学校を中学校と同じ場所に建てることであるなら、どのようなメリットがあると思うが、どのような効果が期待されるのか。

答 (永澤教育長) 小学校から中学校への接続がスムーズに行うことができ、中一ギャップ、不登校の減少等につながっていくものと考えられる。小学校の学習で定着し切れなかった内容を中学校の課程において補うといったことも容易になる。小中合同の教育活動等も考えられる。異年齢とのコミュニケーションの機会が増え、小学生の中学生への憧れや中学生の小さい子への思いやりが育まれ、小学校のうちから子どもを見つけている先生方が中学校にもいるので

安心できるなどの効果が期待される。

問 教育長が目指す統合小学校の姿、イメージ、思いをお聞かせ願う。

答 (永澤教育長) 地域の枠を乗り越えて、そこに集う全ての子どもたちが心を一つにして、仲よく、明るく、楽しい学校生活を送れる学びの場所になることが大事だと考える。

また、子どもたち自らの夢や目標の実現を目指した意欲的な教育活動が展開されるよう、小中学校が今までの以上に連携を深めながら教育活動を展開していければいいと考えている。

子どもたちが、夢に向かって心豊かに、明るく、たくましく生きていける人間になれるよう、快適な環境を整備していく必要があると考えている。

問 各小学校で地区懇談会を開催して様々な意見や要望があったと思うが、今後どのように進めていくのか。

答 (永澤教育長) 地区懇談会、それからアンケート調査などの結果を踏まえ、教育委員の皆様と

協議しながら今後の対応を検討し、町民の多くの方々の要望、意見に耳を傾けていきたい。

問 町長はアンケートの結果に対してどのような考えを持っているのか。

答 (成田町長) アンケートの結果は、今後の統合小学校を検討する上で大変貴重な資料になる。将来を担う子どもたちのために町民が望んでいる統合小学校の整備に向けて、財政的なことや跡地利用などについてしっかりと対応していきたい。

新型コロナウイルスワクチン接種について

町民の方や、会場スタッフとしてご協力をいただいている保健衛生協力委員に接種することで対応を考えている。

問 町職員の皆さんが接種を受けやすい環境を整えるためワクチン休暇を設けるといった対策も必要だと思うが、いかがか。

答 (成田町長) 町職員が接種する場合は接種に必要な時間帯を職務専念義務免除として取り扱うことにし副反応で勤務ができない場合は特別休暇として対応するなど、接種しやすい環境の整備を勧めている。

問 65歳以上の高齢者については8月上旬をめどに接種が終了する予定になつていますが、高齢者以外の町民の方で希望する全町民が終了するのはいつ頃を想定しているのか。

答 (成田町長) 接種対象者で希望する全町民へのワクチンが確保できる見込みとなっており、医療機関のご協力をいただきながらワクチン接種をできる限り加速させ、年内には希望者全員の接種が完了できるように進めていきたい。

問 予約されている方が接種日の当日体調が悪い場合や熱がある場合は接種ができないためワクチンが余ることが想定されるが、町ではどのような対応を考えているのか。

答 (成田町長) 集団接種の会場において従事している看護師、保健師のスタッフ、次に事前の名簿を頂いている町内の高齢者施設に従事する職員で



松森 俊逸

新型コロナウイルス感染防止対策について

町は、県からの情報以外コロナ対策をせず、風評による感染情報については調査を行わず、対応しないということか。

(成田町長)

県が公表する情報に基づき、町民の皆様に基本的な感染防止対策を徹底していただくよう、注意喚起をお願いしている。

5月22日、役場閉庁にもかかわらず午前9時から開催された町コロナ対策本部の会合では、何が話し合わせ、何が決まったのか。

(成田町長)

担当課から県内の感染状況の説明を受け、今後さらに感染防止対策を町民にお願いしていくことにした。

県からの発表がない限りやらないということにしか聞かえないが、いかがか。

(成田町長)

県が公表する情報に基づきながら対策を講じ、対応している。

PCR検査をした飲食店関係者が保健所からもらった文書がある。そこには陽性者と接触してから14日間の外出自粛が明記されている。つまり営業を最低14日間自粛しなければならぬという事である。もう既に廃業に追い込まれてやめた飲食店がある。調査はしないのか。

(成田町長)

県が公表する情報に基づきながら対応している。飲食店対応する気はないか。

(成田町長)

商工会の名越会長が飲食店関係の支援依頼に来た。商工会から要望書を出すとのことである。

令和2年度における新型コロナウイルス感染対応の国

新型コロナウイルス感染対応の国庫支出金等について

令和3年度の国の地方創生臨時交付金については、現段階では町に1億3,255万5,000円の限度額が示されている。

国庫支出金総額が3億8,700万円であったと報告を受けている。令和3年度はどの程度と考えるのか。

(成田町長)

町民生活支援商品券事業と特別プレミアム付き商品券事業、子育て支援プレミアム付き商品券事業の3つの町独自の事業のほかに、国の放課後健全育成事業に係る町負担分を見込んでいます。

(成田町長)

令和3年度一般会計補正予算(第1号)において、国庫支出金を見込んでいます。

(成田町長)

国保税、介護保険料の減額を時限的に行う考えはないか。

(成田町長)

令和2年度に新型コロナウイルスウイルス感染症の影響により収入が減少するなど要件に該当されている方に、

国保税と介護保険料について

国民健康保険税及び介護保険料の減免を行い、今年度も引き続き実施していきたい。

板柳警察署が交番になったという情報が入った。そのため小学校とも協議して、児童等への感染等を懸念して、23日の運動会を延期した経緯である。

板柳警察署の交番化について

板柳警察署が交番になる旨の報道がされたが、どのように考えるか。

(成田町長)

県警関係者によると、板柳警察署は事案の取扱件数が少なく、管轄面積が県内18警察署で最も狭いこと、庁舎の老朽化による建て替えや大規模改修が必要なことなどで内部で検討してきたと伺った。警察署から交番に移行しても、今後とも警察関係者と連携を取りながら交通関係団体と一体となって安全・安心なまちづくりを進めてまいりたい。

小学校の運動会が延期された理由は何か。

(永澤教育長)

5月20日に弘前保健所管内でコロナウイルスの感染者の濃厚接触者が確認さ

小中学校が開催する各種イベントについて

小学校の特別委員会と教育委員会の統合構想案に差異が生じた場合の対処はいかがするの。

総合的に勘案しながら、教育委員会の中で審議を深めていきたい。町民の意見、要望、アンケート調査の結果を踏まえながら、町民の皆様の意向に沿った形で統合小学校の準備を進めていきたいと考えている。

(永澤教育長)

日数等について頭の中に入っていないかった。

(永澤教育長)

小学校統合問題について

議会の特別委員会と教育委員会の統合構想案に差異が生じた場合の対処はいかがするの。

(永澤教育長)

総合的に勘案しながら、教育委員会の中で審議を深めていきたい。町民の意見、要望、アンケート調査の結果を踏まえながら、町民の皆様の意向に沿った形で統合小学校の準備を進めていきたいと考えている。

議会の特別委員会と教育委員会の統合構想案に差異が生じた場合の対処はいかがするの。

(永澤教育長)

総合的に勘案しながら、教育委員会の中で審議を深めていきたい。町民の意見、要望、アンケート調査の結果を踏まえながら、町民の皆様の意向に沿った形で統合小学校の準備を進めていきたいと考えている。

任 査 員 会 委 員 会 常 任 委 員 会 審 査

総務産業厚生 常任委員会

■消防団デジタル無線機

Q デジタル無線機の使い方は。

A 災害時、消防団の方が個々に無線機を持ち、指示を受けて火災の消火活動に当たる。現在47台配備しているが、今回50台増台した。

■新型コロナウイルス

Q 国と県から対策事業費補助金の形で来ているが、県と国の使い分けは。

A 国に関してはコロナ関連事業であれば使用可能。県に関しては、地域経済対応事業費補助金となっており、プレミアム商品券発行などの財源として充てている。

Q 2、30億ぐらいの財政調整基金はあると思う。さすが板柳だと言われるようなことをやってみては。

A 町独自で、生活支援や飲食店をはじめとする商店街の振興、そして高齢者の生活支援、子育て支援、様々な方に還元したい。

■プレミアム商品券

Q 商品券の発行はいつ頃を見込んでいるのか。

A 7月21日から1月20日を使用期限と設定している。

■ふるさとセンター

Q 売り上げは落ち込んでいるのか。

A 温泉については伸びている。レストランについては減っている状況。

■SNSについて

Q ふるさとセンターなどで実施すればいいと思うが。

A ふるさとセンター公式SNSをツイッターとインスタグラムで始める。

■新型コロナウイルスワクチン

Q 町長、副町長、教育長や現場で指導、介護している方、学校の現場の教師、保護さんなどは、接種を早めた方がいいのでは。

A 今の体制でやれるのか、内部で検討してみたい。

福祉建設文教 常任委員会

■マイナンバー

Q 当町の登録率は。

A 令和2年度の交付件数は858件だが、今年度は4月、5月の2か月で698件あった。

■介護保険料

Q 減免するための申請の手続の必要書類というのはどの程度のものか。

A 前年の収入と比べるもので、前年の収入が分かるもの。さらに書いてもらう様式がある。

■個人事業主等はなかなか難しいと思う。柔軟に対応してくれているのか。

A 収入の見込書は、積算するためのものなので、当てはめていけばどなたでも書けると思う。

■成人式

Q 再延期もあるという話だが、いつ決めるのか。

A 6月の中旬から下旬あたりには通知を発送したいと考えている。

Q 今回はPCR検査は求めないのか。

A 対策を取れば実施が可能と考えている。

Q 町では、県から連絡が来ないと感染状況が分からないと言っていた。成人式は対策を取れるとのことだが、どう整合させるのか。

A COCOAによって、もし感染した場合はずっと周知できるという意味で利用を考えている。

Q 若年層を考えれば去年よりリスクが高くなっている。PCR検査を実施すればいいのでは。

A 今後検討してみる。

◆陳情

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情
継続審査

◆要望意見

管内学校訪問を行い、各小学校の実情について調査して参りました事をふまえて、各小中学校に整備しているタブレット端末について、より一層の有効活用をはかる必要があると感じたことから、ICTに関わる人材の育成と、ソフト面の充実、強化を要望する。

小学校統合問題 検討特別委員会 活動報告

特別委員会では7回の委員会を開催し、各小学校学区保護者・関係者との意見交換、アンケート調査・分析、教育委員会との話し合いを行った。これらの意見等を真摯に受け止め、教育環境の改善はもちろん、町の将来構想にも大きく影響する重要課題として、教育委員会と連携し検討をすることが必然であるという結論に至った。そのため、町長へ4月15日付けで教育委員会と連携し検討して行きたい旨の申し入れを行った。以下、今浩一委員長が第6回定例会で報告した基本方針である。

1. 統廃合することには賛成
2. 統廃合の方法は十分検討する
3. 教育委員会と連携し検討する
4. 板柳町立小学校統合整備検討委員会設置条例案は否決。

一目で分かる審議結果

○全会一致の議案

◆第6回定例会（令和3年6月11日）

議案番号	議案	結果
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて	全員承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて	全員承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて	全員承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて	全員承認
同意第1号	板柳町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	全員同意
議案第1号	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組規約の変更について	全員可決
議案第2号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組規約の変更について	全員可決
議案第3号	板柳町半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正について	全員可決
議案第4号	板柳町承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正について	全員可決
議案第5号	板柳町手数料徴収条例の一部改正について	全員可決
議案第6号	板柳町すこやか出生祝金支給条例の一部改正について	全員可決
議案第7号	板柳町介護保険条例の一部改正について	全員可決
議案第8号	令和3年度板柳町一般会計補正予算（第1号）	全員可決
議案第9号	板柳町除雪ドーザ購入契約について	全員可決
報告第1号	令和2年度板柳町一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告のみ
報告第2号	令和2年度国民健康保険板柳中央病院事業会計繰越明許費繰越計算書について	報告のみ

○賛否の分かれた議案

◆第6回定例会（令和3年6月11日）

議案	氏名											結果
	工藤 貢	濱名 康治	佐藤 文俊	鈴木 清孝	成田 陽光	松森 俊逸	今 浩一	葛西 幸男	長内 良蔵	成田 肇	三戸 玲子	
議案第8号 令和3年度板柳町一般会計補正予算（第1号）に対する修正動議（下記のとおり）	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	賛成1人 否決

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ※議長（佐藤洋治）は採決に加わらない。

議案第8号 令和3年度板柳町一般会計補正予算（第1号）に対する修正動議の内容（発議者：松森俊逸議員）

社会福祉費負担金・補助及び交付金に700万円を増額し修正すべく、動議を提出する。

経済的苦境に陥り廃業する飲食店事業主も散見し出した当町において、早期の支援を講ずるよう再三再四にわたり私の一般質問でたてましたが、町長答弁は当町コロナ関連の県発表がない限り支援策を講ずることができないとの一点張りでありました。当町飲食店に起因するクラスター発生事実について、具体的な証拠書類及び状況証拠を丁寧に示して早期の支援策の要請を重ねて、重ねて町長をお願いいたしましたが、全く聞く耳を持たず、最後には質問時間が過ぎることばかりに注意を払い時計を気にする町長の態度を眼前にして閉口するばかりです。この際、町長が提案した板柳町町民生活支援商品券事業を利用活用し、同じ町民である飲食店経営、中には町外の方もおりますが、同じ町民です。その苦境に陥っている飲食店経営の個人事業主町民に対し生活支援商品券をより厚く配付することがいいのではないかとことを考え、提出します。

○全会一致の議案

◆第9回臨時会（令和3年7月2日）

議案番号	議案	結果
議案第10号	令和3年度板柳町一般会計補正予算（第2号）	全員可決
議案第11号	令和3年度国民健康保険板柳中央病院事業会計補正予算（第1号）	全員可決

視察・研修レポート



福祉建設文教常任委員会 管内小中学校訪問

5月31日、板柳町管内小中学校を視察訪問しました。

東小学校をスタートに小阿弥小学校、北小学校、板柳中学校、南小学校の順にまわり、各学校を校内一巡し、各学校の経営方針や学力向上及び生徒指導に係る取り組み状況等について説明を受けました。特に、コロナ禍での部活動や学習旅行・タブレット端末の有効活用・建物の維持・補修・修繕について学校環境を直に感じ取り、有意義な意見交換をすることができました。

(委員長 鈴木清孝)

議会の動き (4月～6月)

開催日	会議等名	開催日	会議等名
4月	2日 小学校統合問題に係る意見交換会 (小阿弥小学区)	6月	3日 青森県町村議会議長会臨時総会
	8日 議会だより編集特別委員会		7日 議会運営委員会
	13日 小学校統合問題検討特別委員会		〃 議員全員協議会 (午前)
	14日 町例月出納検査 (監査)		〃 本会議 (定例会日程、町長の提案理由等)
	20日 議会運営委員会 (定例会案件)		〃 議員全員協議会 (午後)
	23日 議会だより編集特別委員会		9日 本会議 (一般質問・5名)
	28日 小学校統合問題検討特別委員会		10日 総務産業厚生常任委員会 (所管事務調査)
5月	6日 議会だより編集特別委員会		〃 福祉建設文教常任委員会 (所管事務調査)
	7日 議員全員協議会		11日 本会議 (委員長報告、採決、閉会)
	12日 西北津軽郡町議会議長会定期総会		15日 知事・副知事表敬訪問 (佐藤議長)
	〃 町例月出納検査 (監査)		16日 町例月出納検査 (監査)
	21日 議案説明会		18日 中泊町議会正副議長来庁
	〃 小学校統合問題検討特別委員会		23日 北海道・東北町村議会議長会会長・局長会議
	28日 議会運営委員会 (定例会案件)		30日 議員全員協議会
31日 福祉建設文教常任委員会 管内小中学校訪問	〃 議会運営委員会 (臨時会案件)		

※定例会及び臨時会については、広報いたやなぎにも掲載されています。





佐藤洋治議長

- ・北海道・東北町村議会議長会会長
 - ・青森県町村議会議長会会長
 - ・西北津軽郡町議会議長会会長
- に就任しました。

青森県知事と副知事を 表敬訪問しました！

6月15日、佐藤議長は会長就任を三村申吾青森県知事に報告しました。
終始和やかな会談となり、佐藤議長は知事に今後の抱負を語りました。

青森県の特産品などが描かれた
新作ジャケットの裏地を披露する三村知事



いたやなぎ町議会だより「^{ゆめおいびと}夢追人」を募集しています！

【内容】表紙写真の掲載

※町内在住、男女年齢・個人団体問わず。大人の方でも大歓迎！

【募集期間】随時募集

【選考方法】議会だより編集特別委員会で審査を行い、選出します。

【問い合わせ】板柳町議会事務局

☎0172-73-2111 (内線)



表紙の撮影に協力してくれた南小学校の皆さん

編集後記

ちょっとした「きっかけ」・経験・人との出会いが、その後の人生に大きく影響することがあります。

表紙を飾ってくれた子どもたちは、板柳町でも撮影された映画「いとみち」のスクリーンに元氣いっぱいいな姿で登場する、貴重な経験をしました。

この子どもたちから、将来の映画スターが生まれるかもしれませんね。

いろんな可能性を秘めた子どもたちが「この町が好き」と言って貰えるように頑張ります。

※いまからサイン貰っておくうかな。

(委員 今 浩一)

【発行責任者】

議長 佐藤 洋治

※第31号発行予定は11月12日頃です。

議会だよりへのご意見・ご感想をお聞かせください。